



東近江市の特徴

- ▶琵琶湖の東側に位置、人口約11万人。
- ▶東部の鈴鹿山脈から西部の琵琶湖までを一級河川愛知川がつなぐ。
- ▶森林面積割合56%
- ▶クマタカやビワマスを始めとした多種多様な動植物が生息。

背景

▶東近江市100年の森づくりビジョンの策定 (R2~)

↳ **〈基本施策〉**
いきものの生息に配慮した森林づくり

生物多様性に配慮した森づくりプロジェクトチーム設立 (R3)

- ▶モデル林の設置 (R3~)
- ▶鈴鹿の生態系の頂点に立つクマタカを指標とした森林整備の開始
- ▶ネイチャーポジティブ宣言 (R6)



事業の目的

- 生物多様性の保全
- 産出材の付加価値向上
- いきものの生息に配慮した森林整備の普及

- ↳
- ▶人と自然とのつながりが希薄化したことによる生物多様性の低下を防ぐ
 - ▶産出材の付加価値向上や安定供給につながる仕組みの構築
 - ▶多様な主体がいきものの生息に配慮した森づくりの意義を理解





事業
内容

これまでの取組

植生調査



成長活着調査



モニタリング調査



現地見学会



いきものの観察会



木材の活用



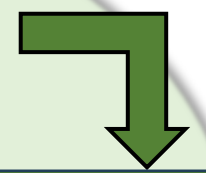
今後の取組

クマタカの森認証制度

販売利益の一部を
森林整備費用に充当

クマタカの森

クマタカ材として
適切に管理



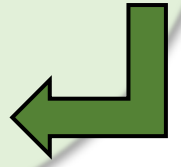
販売



木材製材業者



木材加工業者



付加価値を
つけて販売

ブランド付与

ネイチャーポジティブの実現

いきものの生息に配慮した森林整備を通じて生物多様性の保全、回復が促進される

カーボンニュートラルの達成に貢献

強度間伐及び間伐材活用を推進することで木々の成長を促しCO₂吸収量を増やすとともに木材として利用することで炭素を固定する

森林資源の循環利用

クマタカの森認証材の普及によって森林資源循環利用が促進される

得られる
成果等



現状の課題

○資金や継続性の確保 → 現在は市の委託金で活動しているが長期的に安定した資金がない。

○企業や市民への認知度が低い → 広報や情報提供が十分でなく取組の存在やメリットが知られていない。

企業みなさまに求めるもの

▶プロジェクト事業費への寄附（市への寄附）

・生物多様性の保全を重視した森づくりプロジェクトの継続・拡充に活用

▶クマタカ材製品の購入・活用

・クマタカ材製品を購入していただいた販売利益の一部をプロジェクトや森林整備等に活用

▶森里川湖インパクトファンドへの寄附

・公益財団法人東近江三方よし基金が新たに創設するファンドへの寄附を通じて、「戦略的ネイチャーポジティブ」の実現を前提とした地域の自然資本の保全・活用を支援

▶ネイチャーポジティブとカーボンニュートラルの同時達成に貢献

▶市と公益財団法人東近江三方よし基金のHP等で広報

寄附をするメリット等

